



こんにちは 日本共産党府議会議員
さこ祐仁 議会報告

2011年10月30日NO128号

連絡場所
 日本共産党上京生活相談所
 813-2117

国のかたちを変えて しまおう大問題です

T
P
P

環太平洋連携協定

●TPPは関税を原則撤廃し、農作物の輸入を完全に自由化するもので、農林漁業と国民の食料に大打撃となります。さらに「非関税障壁」撤廃の名のもとに、食の安全、医療、金融、保健、官公需、公共事業の発注、労働など、国民のあらゆる分野での「規制緩和」をねらうものです。

●破綻した「アメリカ型ルール」が押し付けられます

「政府や自治体の発注で、外国企業へのいっそうの開放の義務付け」「『ただ働き残業』合法化のホワイトカラー・エグゼンプション導入」「派遣労働のいっそうの拡大」——TPP、貧困と格差をいっそう広げるアメリカ型経済を日本に押し付ける突破口です。

「食の安全」が危機

殺虫剤・除草剤入り農産物の輸入OK

医療が崩壊

本当にお金がなければ医療が受けられない時代が来る
 (日本医師会)

食料自給率13%

コメの9割以上が外国産に。世界的な穀物不足で、食料価格はここ10年足らずで2.3倍。食糧危機に対応できません。

野田 政権

●アメリカに言われ、大急ぎで結論

首相は「アジア太平洋地域と連携するため」と言いますが、アジアでTPP交渉に参加するのはたったの4カ国。中国、韓国、タイ、インドネシアなど主要な国は参加していません。「関税ゼロ」の打撃は、国の経済にとってあまりに大きいからです。

10月22日 中村和雄市長候補事務所開き 200人が参加

「脱原発！再生可能エネルギーへの転換を」と京極・春日のみなさんと河原町丸太町で訴える

10月15日 鉾参通り展 こくた衆院、中村和雄市長候補、くらた市議、さこ府議

